

トラストだより

平成30年

8月

例年のない暑さ！熱中症も人ごとではありません。一人一人が体調管理をいちばんに心がけて、この夏を乗り切りましょう！

株式会社東京トラスト

【納涼！夏といえば…怪談の歴史】

猛暑の東京。7月から連日寝苦しい夜が続いています。

子どものころ、夏休みには祖父母に連れられて、

お寺へ古い地獄の絵を見に出かけたことを思い出します。

納涼のための怪談は夏の風物詩。古くは平安時代から、古典文学には多数の怪談が収録されており、それらを題材に江戸時代に出版された「**雨月物語**」は広く知られています。当時は歌舞伎の中でも「**四谷怪談**」

「**番町皿屋敷**」など怪談話が一つのジャンルとなっていました。四谷怪談は「**武家の妻 お岩** が夫の伊右衛門に惨殺され、幽霊となって復讐を果たす」という有名な怪談です。話の中で**毒**を盛られたお岩の顔が醜く

変形したというくだりがありますが「お岩が盛られた毒は**トリカブト**であった」という興味深い考察があるそうです。トリカブトの根の部分は「**附子 (ぶす・ぶし)**」と呼ばれ、特殊な方法で弱毒化したものが、昔から**漢方薬**として用いられてきました。トリカブト中毒の典型的な症状に口唇の痺れがあるそうで、服毒による顔面麻痺の症状が大げさに伝えられ、四谷怪談のディテールにつながったのではないかという推測がされています。明治になると、**小泉八雲**や民俗学者の**柳田國男**が日本各地の怪談・奇談を本にまとめるなど日本に「怪談ブーム」が到来しました。当時欧米で流行していた「**スピリチュアリズム (心霊主義)**」の影響を受けていたとされています。昔から人の心をつかんで離さない怪談話。この夏は涼し気な浴衣姿で、**寄席**に怪談物を聞きに行くのもオツかもしれませんね。



不動産ニュース スルガ銀行の顧客支援に不動産大手が助言

スルガ銀行は、野村不動産などの大手3社とシェアハウス融資の債務者に対する助言を行うアドバイザー契約を締結する方針。3社のほかにも大手不動産会社を中心にアドバイザー先を拡大する。シェアハウス融資のトラブルで債務者であるオーナーの支援活動が広がる模様。

スルガ銀行は日本橋室町に「シェアハウス等顧客対応室」を開設。スルガ銀のシェアハウス案件の顧客数は1258人で、融資総額は2036億弱。このうち、約700人と貸出金利の引き下げなど話し合いが進んでおり、対応室ではまずこの700人を中心に更なる負担軽減策を展開する。

東京都不動産協会ニュースより



* 西荻グルメ*

Y's Cafe (ワイズカフェ)

暑くて食欲減退気味の日には、ガツンと辛いカレーを食べたくなります。ワイズカフェの名物は「**やみつきドライカレー**」。辛さの中にカレーの旨みを感じられ本当に病みつきになる美味しさです。辛口が苦手な方は「**オムカレー**」がおすすめ！ふんわりした大きなオムレツでドライカレーの辛さがまるやかになりますよ。カレー以外のメニューもあるので家族連れにも優しいお店です。杉並区西荻北3-31-10 TEL: 03-3394-1557

